講演型＋体験活動参加型（小学校）

学　校　名	大垣市立小野小学校
実施日時	平成28年7月30日（土）
会　　場	金蝶園　大垣東店
参加人数	児童11名、保護者12名
学習課題（分野）	親子体験教室
運営者の願い	校下には加賀野八幡神社自噴井があり、子どもたちは蛍やハリヨを飼育している。そこで、水にゆかりのある水まんじゅうを取り上げた。水まんじゅうは、大垣が発祥の伝統和菓子だそうだが、もっと、地域のことや和菓子の歴史を知ってほしいと思い、企画した。

学　習　の　内　容

＜みずまんじゅうづくり＞　　**講師：北野　英樹氏（金蝶園総本家）**

①砂糖２、くず粉＋わらび粉１、水６の割合で材料をよく混ぜる。
②①を火にかけ、半透明になるまでよく混ぜて生地を作る。
③お猪口に半分生地を流し、あんを入れた後、すり切れいっぱいになるまで生地を入れる。
④③を約１０分蒸した後、冷水で冷やす。
⑤水まんじゅうが冷える間に、薯蕷饅頭（じょうよまんじゅう）を作る。

＜水まんじゅうのひみつ＞

水まんじゅうを作りながら、大垣の歴史や文化にもふれ、水まんじゅうのひみつを教えていただきました。

①明治 30 年頃、菓子屋上田屋文七が、水に浸けておいても流れないくず粉であんを包むことを考え出した。暑い時期、井戸舟で冷やして食べられる水まんじゅうは人気となった。
②あん（特にこしあん）を作るのには、大量で良質な水が必要だった。そのため、地下水が豊富な大垣が適していた。
③江戸時代、茶の湯の普及に伴って美しく繊細な和菓子が発展していった。大垣は城下町として栄え、和菓子の老舗が多い。
④水分が多く、糖度が低い水まんじゅうは日持ちがしない。また、水につけての販売は難しいため、２時間おきくらいに作るようにしている。

＜よいこと見つけ＞

・講師さんの説明をよく聞いて、子どもは自分でどんどん作っていけました。話をちゃんと聞けることに感心しました。
・お猪口に生地を流し込むとき、こぼさないように、ていねいにやっていました。私（母親）より、慎重だと感心しました。
・ふだんは私（母親）が手を出してしまうのですが、今日はすべて一人でやりました。
・説明をしっかり聞いて、手際よくできました。社長さんの説明を真剣に聞いてメモをとっていたので感心しました。

はなみずきだより（NO.3）

平成２８年９月２日

大垣市立小野小学校
ＰＴＡ会長　三輪　吉広
成人委員長　松永　千穂
成人副委員長　松永　宏美

７月３０日（土），第３回はなみずきの会を開催しました。（参加人数２０名）
金蝶園大垣東店（講師：金蝶園社長　北野　英樹様）にて，親子で水まんじゅうと上生菓子作りを体験しました。
親さんには，最初に「この体験を通じてお子さんの良いところを見つけよう！」とお願いし，会がスタートしました。

ほとんどの方が水まんじゅうを作るのが初めてで，皆さん各テーブルにて戸惑いながらも楽しく作ることが出来ました。
また，一つしかない道具や作業は，お互い譲りながら和気あいあいと作業が出来ました。

水まんじゅう４個，上生菓子２個作成しました。

水まんじゅうを冷やしている間，大垣の歴史や水まんじゅう・湧き水との関わりのお話も聞かせていただきました。
皆さん，大垣は湧き水が豊富で井戸がいろんな場所にあることは，子どもたちも知っている子が多くいました。しかし，水と水まんじゅうの関係は初めて聞く事がとても多く，社長さんのお話を最後まで興味を持って聴いていました。

終了時には，親さんがお子さんの良いところをたくさん見つけることが出来た様子で，「思っていた以上に子どもの方がしっかり話をきいていて，頼りになった」，「意外と小さい子どもでも一人で頑張る事ができた」などの声を聞く事が出来ました。

水まんじゅうの歴史
130 年前（明治時代）　上田屋文七
明治時代・・・電気，冷蔵庫はない
水 ＝ 物を冷やす道具
大垣：湧き水が豊富　冷たく　生活水豊富 ⇒ 井戸舟（野菜を冷やす事ができた） ⇒ 冷たいお菓子＝水につけて冷やす ⇒くずまんじゅう
しかし「くずまんじゅう」＝皮が白くなりすぐ固くなる ⇒ 改良 ⇒ 水まんじゅう誕生！
日本全国で評判がいい和菓子が存在したのは大垣だけと言ってもおいくらい。
店先の井戸舟で食べる。（今では，コンビニの前で買った飲物を食べる感覚）
《大垣遊覧あるお菓子屋巡り》
どうして？ ⇒ ・城下町であり，殿さまは和菓子好きだったこと。・「あんこ」がおいしい！ ⇒水量の水で付近を飾べから！（一般的には砂糖により他の量を使用）

【親さんの感想】
・出来たての水まんじゅうは，わらびとくずの食感が非常にプルプルしておいしかったです。
・夏休みの良い体験となりました。おいしくできました。小さい子どもでも参加できたので，良かったと思います。
・家ではなかなか一緒に作れないので，子どもと一緒に作ることができ，楽しめました。
・体験できない事をさせていただいてとても勉強になり，楽しいひとときをありがとうございました。

【子どもたちの感想】
・前に水まんじゅうを食べました。ずっと水についていたのでつめたかったです。でも，今日出来たてで食べてみてものすごくおいしかったです。
・水まんじゅうのできたては，おいしかったです。
・初めて水まんじゅうを食べました。作ったのも初めてです。かんたんに出来て，とてもおいしかったです。
・楽しかったし，自分で作れたからうれしかったです。

＜家庭教育学級だより＞

９月、家庭教育学級だよりを発行しました。パソコンに堪能な役員が、お便りの発行を担当するなど、役割分担をして運営をしています。

ポイント

会のはじめに、家教長から「親子のふれあいを深めるとともに、お子さんのよいところを見つけましょう」という働きかけがあった。

お母さんからよいところを伝えられた子どもだけでなく、皆が笑顔になる時間だった。

ポイント

今回、約 70 名の応募があったが、会場の都合で、抽選となっている。そのため、参加できなかった方のために、家庭教育学級通信「はなみずき」で様子を知らせ、秋に追加開催を行った。

年間計画はあくまで計画。嬉しい計画変更だ。